

地域未来創生教育コース

本コースは、地域未来の社会基盤づくりを研究開発する「未来社会工学開発研究センター」と連携しながら、急速に進展している自動運転・ロボティクス・燃料電池・知能化技術について重点的に研究教育を行い、サイバー空間と現実社会が高度に融合した「超スマート社会 (Society5.0)」の実現に貢献し、持続性ある地域の未来を創生できる高度専門職業人を養成します。



必修科目の「地域未来創生アクティブラーニングⅠ・Ⅱ・Ⅲ」では、自ら考え、判断し、行動することを通じて、実践的にプロジェクトを推進する能力を身につけます。左は茨城県石岡市（旧八郷町）の古民家で農村の魅力と課題について議論する学生らの様子、右は数理モデルで高校生とともに地域の課題を解決しようとする授業の合宿の様子です。



自治体職員学び直しモデル

古矢 潤

茨城県常総市役所

地方では、人口減少など様々な課題があります。「地方創生」にむけて急速に進歩する技術を応用し、課題解決に導く専門性を持った人材が求められています。「つくばの社工」には、修士（社会工学）の学位が授与される社会人向けの研究教育プログラムである地域未来創生教育コースがあります。基礎知識を習得できる講義のほかにも、他の自治体や民間企業における先進事業に対する視察やグループワークなど、実践を通したカリキュラムが

組まれており、広い視点から学ぶことができます。「つくばの社工」には、自治体職員のほかにも多様な民間企業からの社会人学生も在籍しており、各分野での課題解決において情報共有をすることができます。地域未来創生教育コースで学ぶことで、社会人としての経験を有しながらもう一度広い視野で学び、新たな知見を得ることができました。今後は現場サイドから地域貢献に向けて「つくばの社工」での学びを実行していきたいと思ひます。

筑波大学大学院 理工情報生命学術院
システム情報工学研究群

社会工学学位プログラム(修士)

<https://www.sk.tsukuba.ac.jp/PPS/>



社会工学学位プログラムでは、「社会現象の演繹的理解（社会システムサイクル）」と「データ解析による帰納的理解（データ解析サイクル）」を基礎とするバイサイクル型教育指標として、5つの教育指標を設けています。

武部 聖斗

伊藤忠商事株式会社



“つくばの社工”で過ごした日々は私にとって大きな力となりました。社会工学は、現代社会に存在する様々な問題の原因を解明するだけでなく、より良い未来へとつなげていくための手段を見つけることのできる学問です。特定の分野や手法だけを学ぶのではなく、自らが興味のある分野や新しい手法を学び、積極的に挑戦していくことのできる環境があります。ファイナンス・最適化、都市計画、行動科学をはじめとする多彩な分野の授業で、共通する課題、分野を超えた新たな解決へとつながる可能性を学び、

経験することができました。一つの枠にとらわれず広い視野を持って行動する力は、勉強だけではなく全てのことに於いて大切だと思います。私自身が続けていたアメリカンフットボールにおいてもこの力を活かすことができました。枠にとらわれず多くのことを学び経験することのできる“つくばの社工”には、その性質ゆえに様々な教員や学生、留学生がいます。こういった人々たちとの出会いが自然と自分の可能性を広げてくれる点も“つくばの社工”ならではの良さであると思います。



片山 茜

国土交通省

“つくばの社工”の大学院で都市計画を学べたことは、私にとって貴重な経験です。私は、学部時から“つくばの社工”に所属していましたが、大学院では学部と比較してアウトプットの機会が多く、応用力が身につく点が大きな魅力だと感じています。例えば、都市計画系の多くの授業ではグループワークが課されており、実践を通じてこれまで学んだ知識を活かすこと、自らの力で新たな知見を得ることが求められます。その過程の中で、思考力や分析力を培うことが

できたと感じています。他にも、社会との接点の多さは学部との大きな違いです。民間企業や省庁で働く職員の方が、外部講師として講義を行ってくれる機会があるため、自らの専門領域と社会の接点を意識して学ぶことができます。この経験は社会工学専攻として修士論文を書く際にも大きく役立ったと感じています。

中田 浩二

株式会社鹿島アントラーズFC



私は、社会人特別選抜制度を利用して“つくばの社工”に入学しました。講義は若い学生たちと一緒に受講しましたが、座学の授業がありながらも外部講師による講演もあるので、実際に今起きている事例を聞くことができ、学びと現場を体感しながら研究することができました。グループワークでは、身近な課題をどのようなアプローチを用いて解決できるのか、みんなで議論をして提案することを目指します。みんなで一つのことを

突き詰める作業は、馴染みのなかった数学的手法を用いるという点でしんどくもありましたが、楽しいものでした。若い世代の持つアイデアや柔軟な発想に刺激を受けるとともに、充実した学生生活につながりました。ここでの学びを今後のキャリアに生かし、社会に貢献していきます。普段の生活では得られない、新たな知見と刺激を得るには、“つくばの社工”がオススメです！



胡 曦澄

みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社

みなさんこんにちは、私は中国の大学で数学学科卒業後に来日し、社会工学学位プログラム（修士）を修了した後に第一生命保険に入社しました。現在はデータ解析の仕事をしています。様々なフィールドの知識が必要となると同時に、データサイエンス技術の急速の発展も合わせて常に勉強することが求められます。専門知識が活かせるため、私は今の仕事がとても好きです。学生時代に学んだことは自分の方向性を明確にしてくれ、現在も役立っています。“つくばの社

工”の幅広いカリキュラムは、個人の好きなように組み合わせることができます。大学院では自分の進みたい道も徐々にはっきりして、理想に向かって土台を作ることができました。また、研究室と自治体や企業の産学連携プログラムに参加することで、自分の専門スキルと課題解決力が鍛えられると共に、多くの人と接する機会が与えられ、貴重な経験をすることができました。“つくばの社工”には、多様な成長チャンスに恵まれる環境があることを、大学院を目指す皆さんにも知っていただけたら嬉しいです。